

境港にジェトロの窓口が誕生

とっとり国際ビジネスセンター

日本の公的な貿易・投資促進機関である独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)が、とっとり国際ビジネスセンター内(竹内団地)に「さかいみなと海外展開サポート窓口」を設置しました。

境港にジェトロが拠点を設置するのは、20年ぶりのことです。これで、鳥取市にあるジェトロ鳥取貿易情報センター(ジェトロ鳥取、小林紘之^{ひろゆき}所長)と合わせ、県内2拠点体制で企業の海外展開を強力にバックアップする体制が整いました。

昨今の円安進行やインバウンドの増大を背景に、県内企業の間でも海外市場を目指す意識が高まっています。しかし、いざ海外ビジネスを始めるとなると、貿易手続きや相手国の市場動向、法規制、契約交渉、語学など、多くのハードルが存在するのも事実です。

こうした課題を対面でじっくり相談できるのが今回開設されたサポート窓口です。同窓口はジェトロ鳥取を通じて、世界70カ所の現地事務所や研究所のネットワークと直結しており、最新の海外ビジネス情報や多様な支援メニューを直接活用することができます。

窓口には、海外ビジネスの実務経験が豊富な「海外展開サポート専門員(海外ビジネス・シェルパ)」が常駐。境港には森雅史^{まさふみ}さんが配属され、鳥取県西部の中小企業の皆さんの相談に応じます。

森さんは素材メーカーの経営管理部門に長年勤務し、中国への海外赴任での企業経営の経験もあるなど、海外の事情に精通しています。

「私の出身地である山口と鳥取は、似通ったところがあります。鳥取の輸出と海外展開のさらなる拡大に向けて貢献したいです」と森さんは、抱負を述べました。

「シェルパ」とは、ヒマラヤ登山で案内やルート開拓を担うパートナーのことです。海外ビジネスへの挑戦は決して難しいことはありません。経験がなくても、企業の現状に合わせてステップを踏んでいけば実現可能です。

この「海外ビジネス・シェルパ」が窓口相談や企業訪問を通じて個別課題に寄り添い、海外ビジネスの成功に向けて案内役として導きます。ぜひ気軽にご

活用ください。



海外展開の心強い味方・森雅史さん